

講義名	スポーツ施設マネジメント			授業形態	
担当教員	与那覇 秀勲 / 山口 志郎	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	SPS361
主題と概要					
スポーツ庁は、2016年秋にスポーツ市場の規模を、2015年の5.5兆円から2025年には15兆円へ増やす目標を掲げた。また、2019年ラグビーワールドカップ、2021東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されて以降、スポーツ施設マネジメントの注目度は年々増している。スポーツ市場の拡大とスポーツ参加者（実施者）、スポーツ観戦者の増大において、質の高い施設マネジメントが不可欠である。このスポーツ施設マネジメントでは、屋外・屋内などの体育スポーツ施設の設備を管理について、施設を利用する人が安全に、安心して楽しく活動ができるよう、各種器具取扱いの知識をはじめとし、万が一事故が起こった時の法的責任など、施設管理者として必要とされる様々な知識の習得をめざす。					
到達目標					
本授業の到達目標は、以下の通りである。 スポーツ施設マネジメントに関する用語を理解できるようになる。 スポーツ施設の維持・管理に関する知識を習得できるようになる。 スポーツ施設の管理者に生じる法的責任やリスクマネジメントを理解できるようになる。					
提出課題					
授業終了後に、その回の授業内容の理解度を確認するための課題（小レポート）を課す。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
毎回の授業において、前回授業の提出課題についてフィードバックを行う。					
評価の基準					
課題（毎回の小レポート）：50％ 期末試験：50％					
履修にあたっての注意・助言他					
授業はテキストの内容に沿って進めるため、予習・復習を十分に行い、授業に臨むこと。					
教科書					
・公認スポーツ施設管理士養成講習会テキスト・		（公財）日本スポーツ施設協会	（公財）日本スポーツ施設協会	1000	
参考図書					
・なし・					

その他		
授業計画		
1. ガイダンス、スポーツ施設の種別と役割 （予習）自身の身近にあるスポーツ施設を調べる（120分） （復習）スポーツ施設の種別に応じた役割を確認する（120分） 2. スポーツマーケティング （予習）テキストのスポーツマーケティングの章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所やスポーツマーケティングにおいて重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 3. スポーツ施設経営論 （予習）テキストのスポーツ施設経営論の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所や スポーツ施設経営において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 4. スポーツ施設の維持管理 （予習）テキストのスポーツ施設の維持管理の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所や屋外スポーツ施設の維持管理において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 5. 屋外スポーツ施設の維持管理 （予習）テキストの屋外スポーツ施設の維持管理の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所や屋外スポーツ施設の維持管理において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 6. スポーツフロアの維持管理 （予習）テキストのスポーツフロアの維持管理の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所やスポーツフロアの維持管理において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 7. 水泳プールの維持管理 （予習）テキストの水泳プールの維持管理の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所や水泳プールの維持管理において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 8. スポーツ施設の照明と維持管理 （予習）施設の管理水準書（授業で配付）の内容を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）施設の管理水準を満たすために必要な取り組みや維持管理のポイントをノート等にまとめる（120分） 9. スポーツ施設の音響と維持管理 （予習）テキストのスポーツ施設の照明と維持管理の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所やスポーツ施設の照明と維持管理において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 10. スポーツ施設の音響と維持管理 （予習）テキストのスポーツ施設の音響と維持管理の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所やスポーツ施設の音響と維持管理において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 11. 芝生の造成と維持管理 （予習）テキストの芝生の造成と維持管理の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所や芝生の造成と維持管理において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 12. スポーツ施設用器具の維持管理 （予習）テキストのスポーツ施設用器具の維持管理の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所や スポーツ施設用器具の維持管理において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 13. スポーツ施設の劣化と保全 （予習）テキストのスポーツ施設の劣化と保全の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所やスポーツ施設の劣化と保全において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 14. スポーツ施設の法的責任 （予習）テキストのスポーツ施設の法的責任の章を熟読し、分からないところをチェックしておく（120分） （復習）予習でチェックした分からなかった箇所やスポーツ施設の法的責任において重要なポイントをノート等にまとめる（120分） 15. 全体のまとめ （予習）テキスト全体を読み返すとともに、ノートにまとめた各授業単元の要点を重要なポイントについて確認しておく（120分） （復習）テキスト全体を読み返し、試験に向けて学習を進める（120分）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
＜学科共通＞ ますます高齢化社会が進む現代社会において、子どもから高齢者までの広範囲にわたる健康分野に関する基礎知識を身につけ、健康関連産業やスポーツ関連産業で就業することができる。 「する」「ある」「をさせる」の視点で踏まえながら、スポーツをキーワードとした専門的かつ実践的な施設運営の能力を身に付けることができる。そのため、DPに貢献し得る科目である。 ＜スポーツマネジメントコース＞ 「する」「ある」「をさせる」の視点で、スポーツをキーワードとする関連事業分野、業種において施設運営に携わることができる。 スポーツ施設マネジメントでは、「する」「ある」「をさせる」の視点に立った運営実習が含まれている。そのため、DPに貢献し得る科目である。 健康課題やスポーツ産業などの多様な社会的背景と今後の課題と対応策について、分析、評価を行うことができる。 健康やスポーツ産業に関わる施設運営を通じて、地域の社会課題解決を目指すことから、DPに貢献し得る科目である。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
responを活用した学生の参加を促すとともに、その結果に対するフィードバックを通して双方向のコミュニケーションを図る。		
実務経験の有無及び活用		
実務経験あり。スポーツ施設での勤務経験を有しており、スポーツ施設現場におけるサービスや安心・安全管理・点検の手法について、具体例をあげて分かりやすく説明することで、学生の目標到達に努める。		
備考		
本講義は、（公財）日本スポーツ施設協会の資格認定講座であり、認定試験に合格し、所定の手続きを行うことで「公認スポーツ施設管理士」資格が付与される		